

令和5年度 第2回相生小学校運営協議会 会議録（要点記録）

（敬称省略）

- 1 開催日時 令和5年6月23日（金） 13時00分から15時45分
- 2 開催場所 相生小学校 多目的室
- 3 出席委員 小杉 思主世、大谷 一雄、水谷 加寿代、原 隆之、中川 有香、森田 賢児、鈴木 麻衣子（学校支援コーディネーター兼務）
- 4 欠席委員 長澤 秀幸、廣野 篤男、伊藤 大輔
- 5 学校関係 鈴木 晶子（校長）、鈴木 滋雄（教頭）、鈴木 由香（主幹教諭）、村上 友香（CS担当教諭）、伊藤 龍彦（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 伊藤 龍彦
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について意見を求めたところ、鈴木委員が本日の議事を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）温かくかかわる子の育成に向けた具体的な取り組みと役割分担について
- （2）キャリア教育推進に向けての支援策について
- （3）その他喫緊の課題

11 会議記録

司会から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）温かくかかわる子の育成に向けた具体的な取り組みと役割分担について

学校支援CDから、別紙資料に基づき、5月から6月にかけてのボランティア活動について、具体的な報告があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・6月1日風の子太陽の子ボランティア活動発足式については、130名ほどが登録されている中で、70名ほどの参加をいただき開催された。6月19日、地域住民や保護者を講師に招いたクラブ活動が開かれ、全10クラブ中7つのクラブに18名のボランティアの皆様が参加して下さった。6月21日の中日新聞に掲載された。（鈴木委員）
- ・ボランティアとして関わったクラブ活動を通じて、良かったことは、子供や保護者から声を掛けてもらえるようになってきた。また、短い時間ではありますが、子供たちと話し合いができて、大変良かった。縦割りで授業を受けることの大切さも痛感した。（会長）
- ・地域や保護者にボランティア活動について、どのように発信していけばいいのか？（会長）
- ・職員室の前の活動掲示や中日新聞に掲載してもらい発信をしている。（鈴木委員）
- ・折角、ボランティア登録して下さった130名の方が、1度もその機会がなく、1年が経過してしまうのでは？と心配をしている。ボランティアの皆さんとの連絡方法についても、何か効果的な方法を考えていかなければなりません。（会長）
- ・皆さんは、ボランティア活動をどのようにして知り得るのか？（鈴木委員）

- ・ほとんど周りの人との話題にも出てこないのので、保護者以外は知る機会がないと思う。登録をしても出番がなく、何年も経過する人も確かに出てくるのかもしれない。(原委員)
- ・コロナ前のような状況で、地域との交流が活発になれば、話題も伝わるかもしれない。すぐには難しいかもしれない。PTA会長の伊藤さんもメンバーに入ったので、PTAの中でも情報交換がされていくと思う。(森田委員)
- ・今年度と来年度は、運営協議会とPTAが一体となって活動ができていくと思う。(鈴木委員)
- ・「子ども見守り隊」は、自発的に参加してくださる方も増え、大雨の際の登下校等、大変助かった。(校長)
- ・たすきの効果は抜群で、変なおじさんが、良いおじさんに変身できたと思う。(会長)
- ・「子ども見守り隊」の活動で地域とのつながりが感じられて良かった。ボランティア情報は、いろいろ発信していただければ、大変ありがたい。(水谷委員)
- ・民生委員の同僚にもPRして、子どもたちのために、やる気のある方もいるので、勧誘していきたい。また、地域の高齢者方々の中には、地域とのいろんなかかわりを持っている方もいるので、力を借りていきたい。民生委員の研修会で、〈一人の子どもの成長には、何十人も大人の関わりが必要だ〉という話を聞いて、印象に残った。たくさんの大人のかかわるCSの活動も重要だと思う。(大谷委員)

(2) キャリア教育推進に向けての支援策について

校長から別紙資料に基づき、各学年のキャリア教育年間指導計画や授業参観でのキャリア教育の視点や身につけたい力について、説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・キャリア教育については、保護者にまだ浸透していないのではないかとCSでの活動も少しずつ活動内容を伝えてもらうのが、いいのではないかと。(鈴木委員)
- ・家庭科や生活科の授業ボランティアで、子供たちと共に、授業に参加する機会が増えたことは、「温かくかかわる力の育成につながっている」と感じる。(鈴木委員)
- ・運動会や林間学校での子供たちの感想などを読んで、これは、宝物ですね。子供一人一人がみんなの良さをよく見ているなど思った。(会長)
- ・2分の1成人式は、ないのですか？立志式が東部中であるので、あるといいのではないかと。(森田委員)
- ・2分の1成人式は、好評だった。子供の成長を見ると、いいなと思う。(水谷委員)
- ・息子に聞きましたが、風の子太陽の子カードというものがあり、誰が書いても、何を書いても、誰に渡してもいいというカードがある。ポストに入れると、委員会の子が取り出して、放送の可否が書かれている。口になかなか出せないようなことや何が良かった、楽しかったというようなことが書かれている。最近、提出の数が少なく出してくれるよう依頼をするようだと聞いた。(中川委員)
- ・大人にも誰かに聞いてもらいたいという願望があり、聞いてもらえたらうれしいという事がある。子供にとってもなおさらで、この会議やPTAが果たす役割は大切だと思う。(鈴木委員)

(3) その他喫緊の課題

- ・発達障害のある子の問題は、行政でもその対応に注目している。 (森田委員)
- ・医療との連携で協議しているケースもあり、以前と比較すると改善されてきている。(校長)
- ・障害を持つ子供の件で、まず、親が子の障害のあることを認めないと何事も進まない。
親が進んで、障害について学んでいかないと、改善していかないと思う。 (原委員)
- ・周りの子にも注目して、声掛けをすることが大切だと思う。 (大谷委員)
- ・授業参観の様子を見ていると、自分の時もやんちゃな子が多かったが、最近の傾向として、親の学校任せが多いと思う。先生たちは、問題のある子への対応は、経験に裏付けされていると思うが、教室にいられない子・みんなと一緒に行動できない子等、何に違いあるのか？
(森田委員)
- ・発達の凸凹を持った子へは、環境、正しい指導、教育が必要だと考えています。そのために保護者と医療との連携、関わり合いが大切だと思っています。 (校長)

その他の報告事項

司会より次回令和5年度第3回会議は、令和5年10月31日(火曜日)13:00～15:30に多目的室で開催する旨の報告があった。